

# 未来につながるSDGs - いなかの暮らしを



おさんぽの会での活動（大安町鍋坂）。いなべの四季折々の自然を感じながら、子どもや親が楽しく交流。五感を使って自由に遊べる場を守ることにつながっている

## 世界共通の約束ごと「誰一人取り残さない」

2015年に国連で採択された持続可能な開発目標「SDGs(Sustainable Development Goals)」の理念。「貧困をなくそう」など17のゴールを掲げ、2030年までに達成することを目指しています。

SDGsは特定の人だけが取り組みれば良いものではありません。世界を変える大きな成果のためには、一人

一人の行動・意識の変化の積み重ねが大切です。そして、SDGsは難しい取り組みではなく、少し意識をすることで、身近なことから関わるすることができます。

自然や人が豊かないなべを、今もこれからも守り維持するためにどんな行動ができるのか。今回は皆さんに知って欲しいSDGsの特集です。

### いなべが住みやすいと感じる理由は？

- 1位 自然に恵まれている(80.6%)
- 2位 友人・知人が多い(50.8%)
- 3位 住民が親切で人情味がある(35.1%)

令和元年10月に実施したまちづくり市民満足度調査の結果、約70%(回答者数1,446人)が住みやすいと答えました。住みやすい理由はいなべの自然環境や人とのつながりが良いと感じている人が多く、今のいなべの環境に愛着を感じている人が多いようです。

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

いなべ市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています

貧困や不平等・格差、気候変動などの問題を解決することをめざすため、17項目の開発目標を国連が決めました。誰一人として置き去りにしないなべにするために、私たちができることを考えてみませんか。



## 誰でもできるSDGsアクションガイド

出典：国連広報センターアクションガイド

### Level 1 / ソファに寝たままできること



電気を節約しよう。電気機器を電源タップに差し込んで、使っていないときは完全に電源を切ろう。



オンラインでのいじめを報告しよう。掲示板やチャットルームで嫌がらせを見つけたら、その人に警告しよう。

### Level 2 / 家にもできること



生鮮食品や残り物、食べ切れないときは早めに冷凍しよう。そうすれば、食べ物もお金も無駄にしないで済むよ。



紙やプラスチック、ガラス、アルミをリサイクルしよう。リサイクルすれば埋め立て地を増やす必要がなくなるよ。

### Level 3 / 家の外でもできること

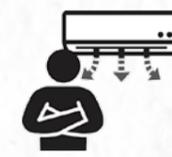


買い物にはマイバッグを持参しよう。レジ袋は断って、いつもマイバッグを持ち歩くようにしよう。



使わない物は寄付しよう。慈善団体は、あなたが大事に使っていた衣服や本に新しい命を吹き込んでくれるはず！

### Level 4 / 職場でできること



社内の冷暖房装置は省エネ型に！



職場で差別があったら、声をあげよう。性別や人種、性的指向、社会的背景、身体的能力に関係なく人は平等。



1. 市国際交流協会会長 多湖信隆さん(写真右上)と、にほんご広場を運営するスタッフ 2. 勉強会の様子。会話クラスではとにかく会話を楽しむ 3. 市内観光で訪れた聖宝寺。日本語の勉強だけでなく、日本文化に触れ、いろいろな国籍の人との交流も楽しんでいる

1. フライベッカーサヤのスタッフ。限られた時間の中で、互いに協力しながら働く 2. パウアルンサンド(税込み660円)。パンは紙で包んで提供し、プラスチックごみを削減 3.4. パンに使用する野菜や麦

## 日本語を分からない人が気軽に学べる場 いなべ・にほんご広場

2020年10月時点で、2,000人以上の外国人がいなべで暮らしています。職場でコミュニケーションが取れない、病院で自分の症状を説明できないなど、言葉の壁に悩みを抱えている人がたくさんいます。いなべ・にほんご広場は、言葉の壁に苦しむ外国人が気軽に日本語を学べる場所です。いなべ市国際交流協会の取り組みの一つとして、2010年から始まりました。

活動は毎週土曜日。日本語を学びたい外国人(学習者)と教えるボランティアスタッフが北勢福祉センターに集まります。学習者の目標に合わせて、学習方法の異なる4つのクラスに分かれて行います。

同広場の発足に携わっていた出口義明さんは「学習者の中には、日本語を学び、帰国してからも日本の企業で働きたいという若者がいます。国際的な視点で見たとき、そういった若者の熱意や夢は大切な宝だと考えています。企業も、にほんご広場への送迎やスピーチ大会開催時の応援など、若者たちを大切にしていることが感じられます。若者の未来を守るため、これからも全力で応援していきたいです」と話します。

2020年は新型コロナウイルスの影響で活動を休止。今後はリモート学習の導入などを検討しているそう。日本語を母語としない人のために。いなべでの暮らしを守るため、同広場の活動は続いていきます。



学習者  
**メザ・ロサリアさん**  
「スペイン語しか分からなかったときは一人で行動するのが恐かったし、会話に混ざれなくて、さみしかった。今では買い物や美容院など一人でできるようになりました。日本語を話せることは、とても楽しくて嬉しいです」

ボランティアスタッフ

### 門脇 いねさん 智子さん

「普段、日本語で日常会話をする機会がない人に、会話を楽しみながら安らげる場所になるように意識しています。色々な国の文化や、一生懸命学ぼうとする姿勢に自分たちも刺激を受けています。これからもできる範囲で関わりたいです」



いなべ・にほんご広場 代表

### 渡辺 隆さん

「言葉が理解できず悩んでいる人を見かけたら、まず声をかけてあげてください。分かりやすい言葉や身振り手振りを使うと伝わりやすいです。お互いを理解し合う気持ちがあれば、通じ合うことができるはず」



## 人や環境に優しいドイツパンを提供 フライベッカーサヤ

名古屋で人気を集めたドイツパン店「Freibacker SAYA」の店主を務めた寺園紗也さん。出産がきっかけでいなべに移住し、2019年12月に市内で店を再オープンしました。

同店舗で提供されるパンの原料(ライ麦・古代小麦)や野菜は、夫の寺園風さんが営む八風農園で収穫したものです。野菜は無農薬・自然派栽培。他の材料もなるべくオーガニックのものを使用。できるだけ近場で調達できるものを厳選し、麦は使用する分だけ毎日ひいています。食材の調達・廃棄による環境への影響や食べる人の健康に配慮しています。

「無農薬で自然の中で育った野菜は、本当においしいんです」と紗也さん。風さんとの出会いやいなべの自然に囲まれた暮らしの中で、考え方に変化があったそう。「昔はこのサンドイッチに使う食材はこうだ、と決めていました。今は季節ごとに穫れる旬の食材を、上手に使えないか考えています。それがパン作りのサイクルに一番負担がなく、自然なんです」

将来は八風農園産100%のパンを提供したいと話す紗也さん。日本で作れない食材は、なるべく使わないようにしているそう。寺園夫婦だからこそできる。いなべに適應したドイツパンが完成する日はそう遠くはなさそうです。



寺園 紗也さん  
「私やスタッフが子育てをしながら働けるように、営業日を週3日に行っています。スタッフに無理をさせない、お客さんに迷惑をかけない。おいしいパンを継続してお客さんに届けるため、自分たちの環境に合わせた営業スタイルです」

### 寺園 風さん

「農業でおいしさを求めた結果、無農薬・自然派栽培にたどり着きました。市内3カ所の農園でそれぞれに適した野菜を作っています。素材が持つ本来の味をしっかりと感じることが出来ます。いなべの自然の恵みを感じながら、食べてください」



### Freibacker SAYA

藤原町下野尻 946-3  
TEL : 37-5301  
【営業時間】 11:00 ~ 17:00  
※木~土曜日のみ営業



# 自分たちでできる

## SDGsを **考えてみよう!**

日常生活の中でも、少し意識や工夫をすることでSDGsの取り組みに早変わり。いなべの人17人に自分ができることを聞いてみました!



買い物をするときはお気に入りのエコバッグを持参。

北川 早織さん



水道の水はこまめに止めて、節水しています。

森 日出男さん



月2回、図書館で絵本を借りて読書しています。

岩間 春さん、小夏さん、摩友帆さん



藤原小中学校の給食の食べ残しをゼロにする。

自然の豊かさで人の心を豊かにする。

三輪 蒼さん、梶尾 萌さん



二人で協力して、夕食作りや掃除洗濯をしています。

山下 賢司さん、有美さん



毎日帰ってきたら、必ず手洗いうがいをしています。

奥谷 斗葵さん、太賀さん



外が明るいうちは、部屋の電気をこまめに消しています。

林 三江子さん



調味料やコーヒーはフェアトレード商品を使っています。

中村 紗也香さん



普段から、段ボールや再生紙の分類をしています。

森 正樹さん



みんなが平等に、学校生活を送れるようにする。

図書館で本を借りて、2日に1冊読む。

坪郷 里央さん、山口 洸介さん



DIYで家具などを再利用して、使っています。

佐竹 佑介さん

## SDGsは **すぐそば**にある

意識をしていないだけで、皆さんの普段の行動がSDGsの目標と関係しています。「誰一人取り残さない」周囲に優しい行動は広がり、家族や近くの人暮らしに影響します。

普段の暮らしがいなべの未来につながり、いなべでの暮らしが世界につながる。

一度立ち止まって、自分たちが世界規模の課題とどうつながっているか、何ができるか、考えてみませんか?

# いなべ市は SDGs 最先端のまち

市は2018年からSDGsの観点で、さまざまな業務に取り入れています。

## 1 いなべブランド冊子

市の目玉となる事業を紹介している冊子。2018年発行のものから、各事業のSDGsの該当項目を記し、つながりを明確にしています。



## 2 (株)モリサワとの協業

ユニバーサルデザインの書体を、市の広報物、お知らせなどに使用しています。また、翻訳アプリ「カタログポケット」で日本語以外を母語とする皆さんに、より伝わる情報発信をしています。



## 3 フェアトレードタウン

2019年9月にフェアトレードタウンとなったいなべ市。市民活動団体が中心となって、地域一体で世界規模の課題解決といなべの地域活性化に取り組んでいます。市も「いなべ市フェアトレードタウン宣言」を行い、取り組みを支持しています。



# 令和2年度SDGs未来都市 自治体SDGs モデル事業に選定

東海地方で  
初めて!

2020年7月、いなべ市は内閣府地方創生事務局により令和2年度の「SDGs未来都市」と「自治体SDGsモデル事業」に選定されました。

「SDGs未来都市」はSDGsの達成に向け優れた取り組みを行う自治体が、「自治体SDGsモデル事業」はその中でも特に先進的な取り組みである事業が全国の中から選ばれます。2020年度は34自治体、10事業が選ばれました。

今後、いなべは持続可能なまちづくりの先駆者として、新しい時代の経済・社会・環境を支える大きな役割を担います。

いなべ市の提案

## オシャレでカワイイSDGs

「グリーンクリエイティブいなべ〜グリーンインフラ商業施設「にぎわいの森」から、カジュアルなSDGs推進を世界へ〜」

市の未活用な森林を、減災・獣害予防などの機能で活かします。同時に、「オシャレ」「カワイイ」といった共感を生む「カジュアルSDGs」をキーワードに、都市住民を魅了する場を創出します。

☎ 政策課 ☎ 86-7741



## 図書館で借りよう SDGsの本



「くいしんぼうのあおむしくん」

横ひろし作/前川欣三画 福音館書店  
なんでも食べるあおむしくん。食べ始めると、もう止まりません。ゴミも家も、町まで…。食べ続けた後はどうなるのでしょうか。

「世界でいちばん貧しい大統領のスピーチ」



くさばよしみ編/中川学絵 汐文社

発展は人間の幸せの味方であるもの。持続可能なまちづくりのために、大切にすべきことは何か。人類の幸せを問う絵本。

## シビックコアでSDGsの 絵本が読める

図書館司書が選んだSDGsの啓発につながる絵本20冊をシビックコアで紹介しています。楽しく学べるので、ぜひご利用ください!



## 小中学校でSDGsを学ぶ

市内小中学校では、今までの授業や教育活動をSDGsの観点で再認識し、児童・生徒が自然な形でSDGsを学べるように取り組みを進めています。

学校や地域で学んだことが、普段の学校生活や大人になったときに活かせること、未来を担う児童・生徒が、いなべの豊かな自然・人を思いやる心を育むことにつながることを期待しています。教育現場の変化が、SDGsの観点を持った人の増加を加速させます。



1. 藤原中学校全学年でSDGsについて勉強 2. 藤原中学校1年生の授業。17の目標の中から、自分たちで取り組めることを考える

## こんなことも! 17の目標につながる

子どもたちの協力で動画を3本作成しました。北勢線やフェアトレードなど、身近なSDGsの参考にしてみてください。

いなべ市  
ホームページ  
「SDGs動画」

